



旭区 介護相談員だより



平成27年5月 第11号

事務局 旭区鶴ヶ峰1-4-12 旭区役所福祉保健センター高齢・障害支援課内
電話 045-954-6061

旭区では区内の特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・グループホーム併せて17施設、16人の介護相談員が各施設で活動を行っております。今回は、介護相談員が派遣先で感じたことなどについて、ご紹介いたします。

☆介護相談員が活動を通じて感じたこと☆

- 平成26年度は、3か所の特別養護老人ホームを担当していました。それぞれの施設に共通して感じるがあります。職員の方が私たちの活動を理解してのことだと思いますが、挨拶をいただくことが多くなったことです。私たちが気がつかない時に、職員から声かけがあると嬉しくなります。区役所への報告書の中に、活動後の報告会で対応していただいた職員の役職名を書くようになってから特にそのように感じています。報告書のすべてが受け入れられると思っ
ていませませんが、それでもいつの日か実現して欲しいことばかりです。直近での出来事。年に数回のことだと思いますが、施設内で利用者が自分の意思で買い物
が出来る施設がありました。利用者の生活が自宅にいた時と変わらず、快適になって
ほしいと、いつも思っていますので嬉しいことです。私は、地域の方に「旭区内の施設はどこを利用しても安心で快適です」と伝えたいです。
- 訪問している施設では地域と密着した「運営推進会議」を2ヶ月に1回開催されていま
す。参加者は施設側から管理者、ケアマネジャー、主任など5名、家族会から1~2名、
地域の自治会、民生委員、オブザーバーとして、包括支援センター、介護相談員などが
加わっています。いろんな方面からの意見が出て有意義な会議となっています。
例えば、入居者の方がスタッフに連れられて、街に散歩に出かけるとわかると、自治会
の休憩所を使ってくださいとの申し出があったりします。地域の盆踊り、どんと焼きな
どの行事にしても、そこの役員の方と顔馴染みになっているので安心して見学したり参
加したりできます。この施設は近くの幼稚園や小学校からの訪問もあり、地域の子ども
から大人まで、入居者さんとの交流を数多く計画されています。施設長は、施設のことを理解してもらうために、写真が多い「施設だより」を月1回発
行して、地域をはじめ各地に送るなどして、努力されているとのこと。努力次第で
地域密着型で、みんなを引き込んで運営出来る素晴らしい例だと思います。



○私が訪問する施設は、比較的新しい建物で、明るく広々としており、清掃が行き届いています。季節の花が飾られ、行事に合わせた飾り付けもされています。食事は、味付けが薄いということもなく、利用者は美味しいと言っている方が多いと感じています。

利用者の高齢化に伴い介護量が増え、職員の仕事量も増えてきています。積極的に外国人介護士を受け入れ、利用者、日本人の介護士とも良い関係を築いています。

○心身共に低下し、在宅生活が困難なため、施設での生活となった高齢者にとって、人生最後の仕上げの時をどのように過ごせるかは、非常に重要なことと考えています。

今まで、7か所の施設を訪問し、いずれの職員も一生懸命立ち働く姿に、頼もしさと感銘を受けたことはしばしばありました。

しかし、施設として「こうしたい、ああしたい」と分かりつつも、最近の介護職員不足は関係者を悩ませています。それでも頑張っている職員の立場を理解した上で、もう後戻りできない高齢者の人生が、少しでも幸多き時となるよう後押しできる介護相談員でありたいと考えています。

～施設紹介～

特別養護老人ホーム 陽光苑 施設長

介護相談員さんが来苑されるようになって、約1年半が経過するところです。ご利用者と施設の橋渡し役として活動していただき、また、普段我々が見逃しそうな事柄をご利用者または、市民目線でご提案をいただいております。ご利用者の方々からも「ピンクの服を着た人は今度いつみえるの？」と質問を受け、ご来苑されることを心待ちにされているご利用者もいらっしゃいます。限りある時間の中で、非常に多くの活動をしていただき感謝しております。

介護相談員 岡田 弘子 丹野 康祐

静かな住宅街のはずれにあるホームで、中庭を囲んだユニット型の施設。ロビーや廊下には、利用者が写した写真や絵画、手作りの見事な作品が展示されています。訪問を初めて1年半になりますが、今では相談をしたい、話をしたいと月1回の訪問日を心待ちにしてくれる方もあります。

ホームでは、利用者個人を大切に、希望に添った部屋づくりや、介護がされています。

利用者には、いろいろな考え方を持っていていらっしゃいますが、終の棲家として、生活を楽しんでいただけるよう少しでもお役に立てればと毎月の訪問をしています。

新任介護相談員の紹介

齊藤 悦子 担当：ハートケア左近山、希望の森

編集後記

介護相談員懇談会（相談員、事業所、行政）で、感じたことについて。介護相談員受入れのメリットが、着実に進展していることが伺えます。利用者のニーズを知り、サービスの向上につながっていること、外部からの視点が入ることによって開かれた事業所になっていること、職員間で言いにくいことが、第三者を通して伝えられていること、事業所からは、他の事業所の取組を知って、自分の施設でもがんばろうと思ったことなど。介護相談員と事業所との連携が活発になってきていると伺えることです。すべての施設の訪問が望まれます。

